

校長だより

～なかまとともにのびよう～



天美小学校 HP

令和5年2月号

校長 高橋 義浩



1月21日(土)に、松原商工会議所において「第72回社会を明るくする運動 小学

生・中学生による『第8回スピーチコンテスト』が開催されました

(主催：社会を明るくする運動 松原地区推進委員会)。天美小

第8回スピーチコンテスト



学校からは、代表として6年生2組の渡部 祐莉さんが出場

しました。渡部さんの作文は、自分自身のことを綴った大変素

晴らしい内容で、「松原中ロータリークラブ賞」を受賞しまし

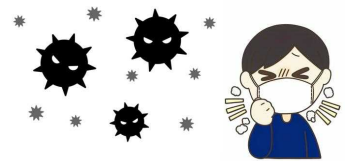
た。それだけではなく、15の小学校の中から一人だけ選ばれる

「特別賞」まで受賞していました。後日、学校に「賞状」と「盾」

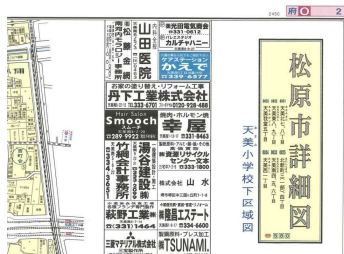
が届く予定ですので、その時には朝会で表彰したいと思いま

す。渡部さん、本当におめでとうございます。

インフルエンザが流行っています



今年、3年ぶりにインフルエンザが流行しています。市内の多くの
小学校、中学校で学級・学年閉鎖が相次いでいます。天美小学校でも、すでにいくつかの学
級・学年が閉鎖されました。インフルエンザへの感染を防ぐには、新型コロナウイルスへの対策
と同じように、できる限り不要不急の外出を控え、部屋の換気と手洗い・うがい等を
することですが、何よりも、免疫力を高めることが大切です。もう2月になりました。そろ
そろお正月気分も抜けていると思いますが、改めて、規則正しい生活を心がけ、体力
の維持・向上によって、できる限りインフルエンザに感染しないようにしましょう！



「校区地図」はありませんか？

今、天美小学校では「令和5年度の校区地図」(左の絵)を求め
ています。もし、お家等で使われない「校区地図」がありましたら、ぜ
ひ、学校までお知らせください。よろしくお願いします。

子どものSNS利用をどう考えるか(前編)

スマホを子どもに持たせてもいいのかという質問は、今までは中学生の保護者に多かったが、最近は小学校での質問になってきた。この質問の前に、スマホの利用方法を再確認していただきたい。スマホが危ないのではなく、「SNSの機能」にリスクが伴う事を保護者が、いかに理解するかだ。



調べ物や学習等、分からないことを調べたり情報収集をしたりするような使い方については特に心配はない。保護者とメールや電話でつながるための利用なら何ら危険はない。リスクがあるのは、SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)で、知らない相手と自動的につながってしまう機能が危険なのだ。ここをしっかりと理解して、SNSがわが子に必要なのか、安心して使わせるには、どう取り組むのかをスマホを持たせる前に家族でよく話し合ってほしい。

「投稿しても友達にしか見せていない」という人もいる。果たして本当に友達に限定できているだろうか。iPhone等アップル製品の場合は、「設定」→「プライバシー」→「連絡先」と設定を確認すると、チェックがon(緑色)になっている場合は電話帳のデータをもとに知り合い(お互いに同じ番号を登録している、実際には知らない人も含まれる)を自動的に紐付けてしまうのだから、「友達」とは呼べない人までつながっている可能性はある。Android系のスマホは、アプリごとの設定で、「友だち追加」等の表示の部分の■✓が入っているかどうかだ。いずれの場合もoffにすればつながりにくくなる。



SNS機能のあるアプリに関しては、ダウンロードして会員登録をする段階で、「新規登録」の表示がなく、LINEやツイッター、Googleの表示をクリックして、「今すぐ登録する」と表示されているタイプのアプリは他人に投稿が見られやすくなってしまう。

小学生が保護者のスマホで、SNS機能のあるアプリを勝手にダウンロードして、「LINEで登録」を押すと、細かな入会手続きの登録が省け、簡単に入会ができてしまうのだが、保護者のLINE情報をもとに入会を完了させるのだから、わが子の投稿が、ママ友や仕事先に見られてしまう場合がある。そこで、もう一度確認してほしい。SNSにわが子が何かを投稿していないか。お母さんは可愛いわが子を、SNSで世界に晒していないか。その投稿を見ている人は誰なのかを、想像してほしい。(以下、次号に続く)

